

# 上部内視鏡検査（胃カメラ）の説明

《当日の持ち物》  
診察券・保険証・  
同意書・お薬手帳

## 【上部内視鏡検査の目的】

食道・胃・十二指腸を直接観察することで、病気（炎症、潰瘍、腫瘍など）の診断や治療方針を決めるための検査です。

## 【検査の方法・手順】

1. 胃の中の粘液を洗い流すシロップを飲みます。
2. 喉をスプレーで麻酔します。
3. 胃の動きを抑える注射や、必要時またはご希望により鎮静剤の注射をします。
4. ベッドに横（左下）になり、内視鏡を口から挿入します。（検査時間は5分～10分程度）
5. 内視鏡が喉を通る時に違和感が生じますが、徐々に軽くなります。  
（鎮静剤が効いてウトウトしているとあまり感じません。）
6. 胃を膨らませて観察するため、少しお腹が張ってきます。
7. 検査でなんらかの病変が疑われた場合は組織を採取し検査します。（組織生検）
8. 検査終了後は、口の中に溜まっている唾液は飲み込まず、全部出してください。  
（喉の麻酔が30分～1時間効いていますのでむせることがあります。）
9. 鎮静剤の効果が取れるまで回復室で休んでいただき、その後に検査結果をご説明いたします。
10. 飲水・食事は、検査後1時間ほど経ち、喉の麻酔が切れてからになります。

## 【検査前日および当日の注意事項】

- ・ 前日は、乳製品を避け、早めに食事をおすませください。  
夜9時以降は水・お茶のみとし、飲酒・喫煙はおやめください。
- ・ 当日ご自宅を出るまでは、少量ずつ水のみ飲んでいただいで構いません。
- ・ 必要な常用薬は、朝7時ころまでに服用してください。  
服用するべきお薬、お休みするお薬については、検査予約時に説明させていただきます。  
特に血液を固まりにくくするお薬を服用している方は、組織検査（生検）ができない場合や、  
中止してから再検査する場合がありますのでご了承ください。
- ・ インシュリンを使用している方は、打たずにご来院ください。
- ・ 鎮静剤を使用する場合は、車・自転車・バイクでの来院はおやめください。
- ・ ゆったりとした服装でお越しください。
- ・ お化粧品は控えめにし、マニキュア・ネイルアートは避けてお越しください。
- ・ 入れ歯は、検査前に外していただきます。

## 【検査による偶発症】

- ・ スコープによる粘膜障害や裂傷・穿孔
- ・ 組織検査（生検）による出血
- ・ 前処置や検査中に使用する薬剤によるアレルギー・一時的な健忘などの副作用

《安全な検査ですが、万一、緊急事態が生じた場合は、責任を持って治療にあたります。》